NEWS RELEASE

【配 布 先】文部科学記者会、科学記者会、府中市政記者クラブ他

国立大学法人 東京農工大学
Tokyo University of Agriculture and Technology

報道関係者　各位

2026 年 11 月 16 日
国立大学法人東京農工大学

東京農工大学シンポジウム 2026「SAF で拓く、未来社会」を開催

東京農工大学は、2026 年 12 月 21 日（月）東京農工大学シンポジウム 2026「SAF で拓く、未来社会」を一橋講堂（東京都千代田区）で開催します。

カーボンニュートラルの実現に向け、持続可能な航空燃料（SAF [注 1)]）への期待が世界的に高まっています。東京農工大学では、「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」や「持続可能な航空燃料に関する国際環境認証及び新規原料開発に関するオープンプラットフォーム（SAF-OP [注 2)]）」を通じて、SAF に関連する取り組みを推進しています。

本シンポジウムでは、SAF 原料・製造技術に関する研究開発の最新動向から、政策や産業界における取り組みまで、幅広い分野の専門家・関係者をお招きし、ご講演いただきます。講演を通じて、SAF の普及拡大に向けた課題や今後の展望について理解を深めるとともに、産学官のさらなる連携促進につなげることを目的とします。

東京農工大学シンポジウム 2026「SAF で拓く、未来社会」
日　時：2026 年 12 月 21 日（月）　10：00 開会（9：00 受付開始）
会　場：学術総合センター内 一橋講堂（東京都千代田区）
参加費：無料（申込フォームからお申込みください。）
情報交換会参加費 6,000 円

プログラム	申込フォーム
https://web.tuat.ac.jp/~j-peaks/news/49/	https://www.kuba.co.jp/saf/form/index.php

本シンポジウムは、JSPS 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS ）JPJS00420230003 の支援を受けて開催します。

用語

注 1）SAF（Sustainable Aviation Fuel）
　バイオマスや廃棄物等から製造される持続可能な航空燃料。

注 2）SAF-OP
　東京農工大学が設置する持続可能な航空燃料（SAF)に関する国際環境認証及び新規原料開発に関するオープンプラットフォーム。SAF の原料となる油脂植物の栽培に関する知見の収集・集約や製造過程の高効率化に向けた調査・研究及び認証制度に関する調査研究を行っている。

本件に関する問い合わせ先

東京農工大学シンポジウム 2026 開催事務局
E-mail:safop2026＠m2.tuat.ac.jp

東京農工大学シンポジウム 2026

SAFで拓く、未来社会

日　時　2026年12月21日（月）9:00受付開始

会　場　一橋大学 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2丁目1－2）

カーボンニュートラルの実現に向け、航空輸送におけるSAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）への期待が世界的に高まっています。東京農工大学では、J-PEAKSや産学連携のオープンプラットフォーム（SAF-OP）を通じ、SAFに関する研究開発・社会実装に取り組んできました。本シンポジウムでは、これらの成果を踏まえ、SAFを巡る国内外の最新動向を共有するとともに、価格・原料確保等の課題について議論し、産学官のさらなる連携につなげることを目的とします。

参加費 無料

プログラム

シンポジウム（参加費無料）

10:00～12:10　第一部：SAF原料（ATJ、ポンガミア、微細藻類）や製造技術に関する研究開発

登壇者：東京農工大学 大学院工学研究院　田中 剛・教授
国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）再生可能エネルギー部 バイオマスユニット　矢野 貴久・ユニット長
神戸大学 大学院工学研究科　荻野 千秋・教授
名古屋大学 生物機能開発利用研究センター　佐塚 隆志・教授
東京農工大学 大学院農学研究院　杉原 創・教授

13:30～17:40　第二部：SAFの社会実装に向けた政策・産業界の動向

登壇者：萩生田 光一・衆議院議員 自由民主党 幹事長代行
中村 幅文・東京農工大学長
国土交通省 航空局航空戦略室　鷲頭 美央・参事官
経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部　大江 健太郎・燃料供給基盤整備課長
南国殖産株式会社 バイオマス推進事業部バイオ燃料開発課　廣濱 良平・東京事務所 所長
株式会社みずほ銀行 産業調査部 資源・エネルギーチーム　高橋 興道
株式会社レボインターナショナル　越川 哲也・代表取締役CEO
日本航空株式会社 調達本部　喜多 敦・国産SAF推進タスクフォース 部長
東京農工大学　板倉 康洋・特命理事

情報交換会（会費制）18:00開始

※プログラムは変更となる場合があります。講演内容の詳細は裏面をご確認ください。





主　催　東京農工大学
共　催　SAF-OP

申し込みフォーム
https://www.kuba.co.jp/saf/form/index.php

【問い合わせ先】
東京農工大学シンポジウム 2026 開催事務局
E-mail：safop2026@m2.tuat.ac.jp
TEL：042-388-7268

本シンポジウムは、JSPS地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）JPJS00420230003の支援を受けて開催します。

東京農工大学シンポジウム2026
「SAFで拓く、未来社会」プログラム

第一部 (10:00～12:10)　：SAF原料（ATJ、ポンガミア、微細藻類）や製造技術に関する研究開発

題　目	講演者
開会挨拶	田中 剛・教授 東京農工大学 大学院工学研究院
SAF開発の動向とNEDOの取組	矢野 貴久・ユニット長 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO） 再生可能エネルギー部 バイオマスユニット
実バイオマスからのバイオ燃料製造の実現可能性	荻野 千秋・教授 神戸大学 大学院工学研究科
ATJ原料としてのソルガム『炎龍』の開発と展望	佐塚 隆志・教授 名古屋大学 生物機能開発利用研究センター
土から支えるSAF －ゲノムと根圏から拓くポンガミア栽培技術－	杉原 創・教授 東京農工大学 大学院農学研究院
オイル高生産微細藻類“ソラリス”を用いた SAF製造の実現に向けて	田中 剛・教授 東京農工大学 大学院工学研究院

12:10～13:30　ネットワーキング・昼休憩

第二部 (13:30～17:40)　：SAFの社会実装に向けた政策・産業界の動向

題　目	講演者
来賓挨拶	萩生田 光一・衆議院議員 自由民主党 幹事長代行　他 文部科学省
学長講演	中村 暢文・東京農工大学長
国内におけるSAF推進施策と2030年以降の展望	鷲頭 美央・参事官 国土交通省 航空局航空戦略室
国内SAF政策動向	大江 健太郎・燃料供給基盤整備課長 経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部
企業講演 「地方商社が拓く、バイオ燃料の可能性」 廣濱 良平・東京事務所 所長（南国殖産株式会社 バイオマス推進事業部バイオ燃料開発課） 「SAFの環境価値とScope3市場の活用」 高橋 興道（株式会社みずほ銀行 産業調査部 資源・エネルギーチーム） 「SAF等バイオ燃料利用による国内資源循環と新たな原料確保の重要性」 越川 哲也・代表取締役CEO（株式会社レボインターナショナル） 「SAFの社会実装にむけた航空会社の役割について」 喜多 敦・国産SAF推進タスクフォース 部長（日本航空株式会社 調達本部）	その他企業講演も予定
閉会挨拶	板倉 康洋・特命理事 東京農工大学

18:00～20:00　情報交換会（会費6,000円）

※プログラムはすべて仮であり、変更となる可能性があります。

TUAT Tokyo University of Agriculture and Technology
国立大学法人 東京農工大学
〒183-8538　東京都府中市晴見町3-8-1
（3-8-1 Harumi-cho, Fuchu-shi, Tokyo 183-8538, Japan）
☎ 042-367-5895

東京農工大学は、基本理念のもと、農学、工学、そしてその融合分野における教育研究を通じて、世界の平和と、社会や自然環境と調和した科学技術の進展に貢献し、持続発展可能な社会に向けた課題解決とその実現を担う人材を育成しています。

統合報告書 Integrated report
大学案内 University information
大学紹介動画 TUAT introduction video

SAF-OP 参画企業
ENEOS　南国殖産株式会社　三井住友信託銀行　SINCE1995 REVO INTERNATIONAL
日鉄物産株式会社　TotalEnergies